

生徒の声

◆僕は約3年間余録をやり続けて、特に成長したなと思う点が2つあります。1つ目は語彙力が向上したことです。余録を始める前は日常生活で難解な言葉が出てきた時、文の全容を理解するのに苦戦してしまうことがあったのですが、今はとどこおることなく読めるようになりました。2つ目は記述問題が短時間ですらすら書けるようになったことです。元々記述問題のせいで国語が得意ではなかったのですが、余録のおかげで要点が素早くぬき出せるようになり、成績もぐんと上がりました。

(現3学年部 1さん)



◆余録日記は1週間分の記事から自分で1つ選び、記事に関係する内容なら、自分の意見から最近のちょっとした体験まで自由に書くことができます。一人一人に先生からのコメントがもらえるので、毎回のモチベーションになったり次回以降の参考になったりします。論理的思考力テストは謎解き感覚で解ける問題が多く、その場で答えと解説を聞くことができるため、疑問をすぐに解決できて面白いです。また、友人と意見を交わしやすい題材が多く、授業以外の時間にも理解を深められることが魅力です。(現4学年部 Oさん)

◆余録日記は、記事の感想を書いたり、内容を百字でまとめたりするなど、ただ新聞のコラムを読むだけではないところが特徴です。提出後、うまく書けた人の作品が何人分か選ばれ、授業の中で具体的にどこが良いのかを先生に評価してもらえます。選ばれたいという気持ちがやる気に繋がりましたし、他の人が選ばれたときはどうまとめれば上達するのかを考えることができ、みんなで学び合える授業だったと感じます。(現4学年部 Mさん)

◆タブレットを使うようになってから、英語の作文で書く量が少しずつ増えてきたと思っています。一つ目の理由は、タブレットを使って作文をしているとわからない単語や表現があってもすぐ調べられることです。辞書だけでなくオンラインで調べることによっていろいろな表現を知ることができて、調べるたびに勉強になります。二つ目の理由は、Googleドキュメントを使って書いていることです。表現がおかしかったり文法的に間違っていたりすると、すぐに指摘があるためその場で直せます。文法の間違いをあまり気にせずどんどん書いていこうと思えます。三つ目の理由は、少し間違えてもすぐに書き直せることです。タイピングはまだまだ遅いので時間はかかりますが、それでも消しゴムで消して書き直すよりはずっと速いし楽です。これからたくさん書いて、良い成績を残していきたいです。(現2学年部生徒の声をまとめて)

◆英語の授業で洋書の多読をしています。10月の時点で平均して1人10冊程度の洋書を読んでいます。一番多い生徒だと30冊近く読んでいます。生徒からは、「洋書は難易度によってレベル分かれていて読みやすい」「文章がわからなくても絵があるので内容が理解できる」「単語がわかれば内容が理解できる」「何より読んでいて面白い」「自分の知っているアニメや映画だと、英語での表現方法が面白いです」「読む時間ももっと欲しい」といったコメントをもらっています。(現1学年部担当先生より)



鶴見大学附属中学校

国語科・英語科

論理 マスター への道

学びの心で世界を変える

論理マスター 日本語

論理的思考力 Logical Thinking

とは

これからの時代を生きるために必要な、「自ら答えを探す能力」のことです。論理的思考力を身につけるため、本校では特に国語と英語の二科目に力を入れており、独自の科目を設置しています。その名も……。

論理マスター ENGLISH

余録日記

毎日新聞のコラム「余録」は話題豊富・文字数充実と国語の教材に最適です。一週間の記事のうち気になったものを一つ選び、「余録日記」に記事を正確に写して認知能力を養成するほか、1年生は『記事への感想』、2・3年生は『感想と要約』を書き記す活動をしています。練習を積み重ねた生徒は、大人顔負けの名文を生み出します！

論理的思考力 テスト

その名の通り、生徒のみなさんの論理的に思考する力を育むための活動です。ヒントを元に並び替え問題をおこなったり、犯人を推理する問題を解いたり……まるで楽しいクイズのようです。楽しいからこそ、「なぜ?」「どうして?」といった問題意識を積極的に身につけられます。授業内の発言も活発になります。

フラッシュカード 学習

ことわざ、類義語・対義語といった語句知識の学習には、先生お手製のフラッシュカード動画を使います。ロイロノートに送られた動画を使って予習→授業内で復習→自宅学習で復習、というゴールデンサイクルをこなすことによって、日本語の知識がみるみる身につきます。また、漢検の対策学習も兼ねています。

Extensive Reading

言語を学ぶ上で、インプットの量がアウトプットできる量を決めます。英語を好きになるためには、まずはインプットの量を増やす必要があります。中学校1年生では、なるべく多くの英語に触れ「見たことのある英語」「知っている英語」を確実に増やしましょう。そのために、洋書の多読をしていきましょう。目標は1年間で30冊以上！ Enjoy English!

Research for Writing

中学校2年生からタブレットを使うことができます。オンライン英語辞書サービスを活用して、多くの単語に触れましょう。オンライン上には英語が溢れています。まずは英文を真似するところから、表現の幅を広げましょう。中学校2年生のうちに、正しく英和辞書、和英辞書、英英辞書を使いこなせるようになろう。 Know English!

Logical Writing

英語の文章の構成は、実はとても簡単です。しっかりと序論(Introduction)/本論(Body)/結論(Conclusion)を意識した文章を書けるようになりましょう。そのための”つなぎ言葉”(Discourse Marker)を使いこなそう。まずは50 words ~ 100 words のライティングにチャレンジしていきましょう。 Use English!

